

八重歯は治した方がいい？

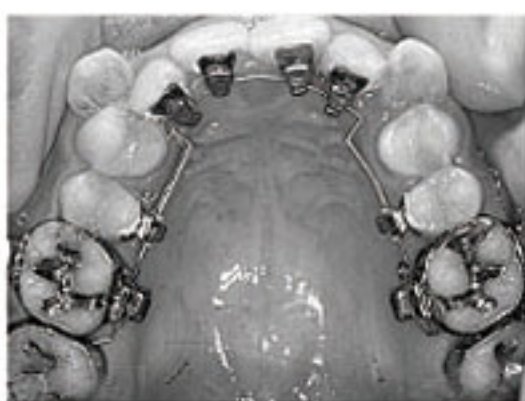
八重歯は代表的な不正咬合一



24歳女性の歯（上、矯正後。下、矯正前）



上下とも裏側の装置で上アゴの八重歯を治療。治療中を通して周囲の人に気付かれることはなかったそう。



「日本では少し前までカワイイと言われた八重歯も、欧米ではドラキュラの歯といわれ、矯正治療で必ず治さなければいけない不正咬合（こうこう）のひとつとされているんですよ」と、ほりい矯正歯科クリニックの堀井和宏さん。

そこで、「八重歯の矯正治療」について、堀井さん

「日本でも、八重歯の矯正を希望する人は多いんです。正をする人は多いんです。いる成人の方が多くなっているような気がします。八重歯自体をコンプレックス

グローバル化の波にともなう、日本でも将来の多くを考えると、お子さんの八重歯を治したいと考えているお父さんやお母さん、また

ご本人も治したいと思っ

る成人の方が多くなっているような気がします。八重歯自体をコンプレックスに感じたり、歯磨きがしにくく虫歯になりやすい、と

理由で治療に訪れる人が

多いようです。

また、以前と比較すると

最近では、就職時の面接で好印象を与えたいので、矯正治療を受けたいという大学生や、治したかったけれど、なかなか治す機会がなく、やっと子どもに手がからなくなったので矯正したい、という主婦も多くなっているように思います。

私の病院では、八重歯の矯正を希望する患者さんの40%が、成人ですよ。

「そもそも、八重歯とは、どういう歯なんですか？」

八重歯は、糸きり歯といわれる犬歯（中央から3番目のとがった歯）が歯列の外側に生えてしまうものです。その大半は、あごの大きさと歯の生える順番に

由来します。

約80%の人は前から順番に永久歯に生え替わっていきませんが、上あごの犬歯は生え始めるのが少し後になることが多いのです。加えて、あごが小さい人だと、前後の歯が先に生えてしまい、すき間がなくなった所に犬歯が生えてくるということになって、自然と歯列の外側にずれて生えることになってしまいます。これが、八重歯です。

それまでは歯並びもふつうだったのに、小学校の高学年で犬歯が八重歯となつて出てきて、お父さんやお母さんがびっくりすることも多いようです。八重歯は、不正咬合です。かみ合わせという歯の機能の点から、あまり良い状態の歯とは言えないので、矯正治療の対象となるのです。

「治療はどうすればいいのですか？」

まず第一に、犬歯が生え

る前に、あごの幅や奥行きを広げること、八重歯と

なってしまうのを予防することが大切です。八重歯になってしまったら、マルチブラケット装置という矯正装置を八重歯になっている犬歯を含めて各歯に装着し、それぞれの歯を歯列の中に動かして行く、という方法が多く用いられます。

最近では、白色のセラミック製の目立ちにくい矯正装置も普及してきました。さらに、少し特殊な技術となりますが、全く見えないように歯の裏側に矯正装置を装着して治療することも可能です。以前は、セラミックの装置や裏側の装置は、金属製の装置と比較すると治療期間が長くなるといわれていましたが、経

験上セラミックや裏側の装置でも、ほとんど差がない治療が可能です。

治療方法や矯正装置については、矯正医と相談のうえ、自分に合うものを使うといいでしょう。